



「猫の小路」(河合建)



「朝陽をあびて」(河合建)



「大門 蔵」(平出照夫)



「慈雲寺山門 仁王」(平出照夫)

10月6日

十月は衣替えが行われ、だんだんと秋が深まる月です。

「・・・の秋」という言葉はたくさんあり、何をするにも快適な季節です。

深まる秋の紅葉ポイントを旅して、ご当地の美味しいものを食べ、美味しいお酒を飲んで秋を満喫出来れば十分幸せですが、旅先でゆつくりと時間を忘れて、一冊でいいのでお気に入りや読みたかった本を読むなんて、贅沢で格好いいと思いませんか？

流行りの物が割と好きな私は、話題の新刊本とか、芥川賞などの受賞作家や、年間ランキング上位のミステリー小説本が出てから落ち着いて買えばよいのですが、半ば衝動買いみたいところもあり、読まないままのものが何冊もあります。その本を持って旅に出かけられたらよいのですが、いつになることやら。

そういうことで、秋の夜長は、お酒を飲みながら、自宅でこつこつと読書することにしますが、美味しいお酒を飲み過ぎて「睡眠の秋」にならないようにしたいと思います。(武居淳彦)



ウォーキングの楽しさ

高木 松倉 捷春

ウォーキングを始めて丸三年になります。楽しみながらウォーキングが続けられる要因は、私の場合「健康管理」と「気分転換」です。三年前、約五十年間に亘る仕事中心タイプのビジネスマン人生の結果、生活習慣病予備軍の一員になっていました。老後を健康で元気に生きるため、ウォーキングによる体力づくりと、バランスのとれた食習慣改善を目指すことにしました。

先人たちの尽力により立派に環境整備された湖畔は絶好のウォーキングロードです。朝起床後、自宅から艇庫まで、往復一万歩ウォーキングが日課です。四季折々変化する湖畔の景観は飽きることがありません。日照・気温・湿度・風向等によって日々目に映る景色は新鮮で、

ウォーキング後の爽快感は気分転換に持って来いです。

恵まれた自然と、行政・民間・各種団体の尽力で維持されているこの貴重な環境資源に感謝し、後世にしっかりと引き継いでいく責務を自覚しています。

三年間のウォーキングによる健康管理成果は、体重14キロ、腹囲9センチのダウンで目標値へはもう一歩ですが、これからも楽しみながら湖畔ウォーキングを継続します。



鳥にみちびかれて

東町 阿部 正則



オオワシ(グル)

諏訪湖が銃猟禁止区域となつたのは平成七年四月一日のこと。

白鳥や多くの水鳥たちが湖岸で羽を休め、コンクリート護岸から親水性や生物の回復機能が図られた結果、ヨシ原ではオオヨシキリが縄張りを告げ、水草帯ではカイツブリなど子育ての光景や、時に水面を青い稲妻の如く飛ぶカワセミの姿も見られます。

その湖岸を歩き、私が求める被写体の鳥に出会えた時、踊る心を鎮めてそつとカメラをセツトし「そこに居てくれ！」と願いつつシャッターを押す。

この瞬間こそ自身にとって何者にも代えがたい至福のひと時です。余裕があれば背景や構図を考え撮影する。その結果を見て納得できればなおさらです。毎年越冬で飛来するオオワシの撮影は厳冬の中忍耐が求められますが、長時間待って思い通りの構図になると、寒さも忘れず。

野鳥撮影は思うように撮れないのが常ですが、今度こそと出かけ苦労して撮れた時「実感と愛着、楽しさと面白さ」が絡み合います。

レンズをとおして見る鳥たちが、数千キロに及ぶ渡りをする生命力に感動し、そのエネルギーに驚異とロマンを感じながら、私の足はまた自然に鳥へと向かうのです。